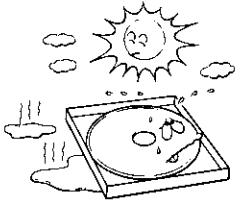


コンパクト・ディスクの上手な使い方

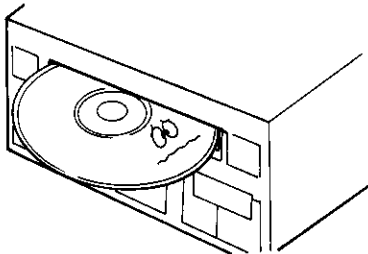
コンパクト・ディスクはいままでのレコード盤とちがひ、ディスクに記録された信号をレーザー光線で読み取るため、針との接触で摩擦することはありません。しかし、表面やラベル面にキズがついたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になりますので取り扱いには十分注意してください。

コンパクト・ディスクを長持ちさせるには

置いていませんか？

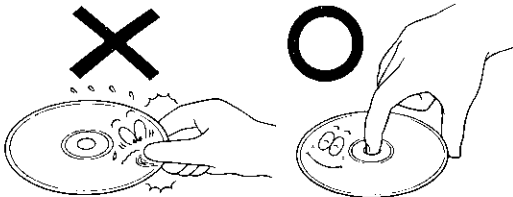


コンパクト・ディスクは必ずケースに入れて直射日光の当たる場所や高温、多湿の場所をさけて保存してください。



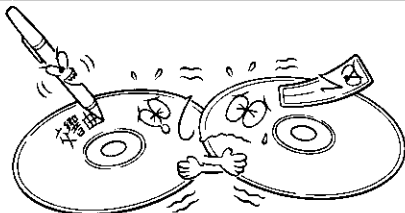
コンパクト・ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。その原因になります。

取り扱いがていねいに！



信号面(ラベルが貼っていない側)に直接触れるとディスクがよごれ、音が悪くなる場合がありますので必ずディスクの中心の穴と端をはさんで持ってください。

書いたり、貼ったりしないで！



ラベル面にボールペンやサインペンなどで文字を書いたり、紙やシールを貼りつけないでください。

よごれをとるときは？

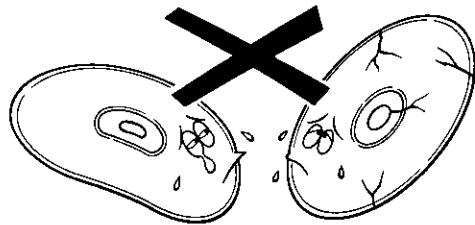


やわらかい布でディスクの内側中心から外側へ直角方向に軽くふきとってください。



ベンジン、シンナー、レコード・スプレー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。

使わないで！



ディスクはプレーヤー内部で高速回転しますので、ヒビがはいったり、大きくそったディスクは使用しないでください。プレーヤーの故障の原因になります。